鈴木まもる　略歴

1952 年　東京に生まれる。東京藝術大学美術学部工芸科中退。
1986 年より伊豆半島在住。
画家・絵本作家・鳥の巣研究家
絵本・童話の挿絵など児童図書の絵をおもに描いている。

☆主な絵本の仕事

「せんろはつづく」「すすめ　きゅうじょたい」「てをつなぐ」「火の鳥　いのちの物語」」（金の星社）「みんなあかちゃんだった」「だっこ」「みずとは　なんじゃ？」（小峰書店）「ピンポンバス」「おはよう！しゅうしゅうしゃ」「いそげ！きゅうきゅうしゃ」（偕成社）「だんろのまえで」（教育画劇）「ウミガメものがたり」（童心社）「いのちのふね」「つかまえた！」（講談社）など。
1995 年「黒ねこサンゴロウ」シリーズで赤い鳥さし絵賞受賞。
2006 年「ぼくの鳥の巣絵日記」で講談社出版文化賞絵本賞受賞。
2015 年「ニワシドリのひみつ」産経児童出版文化賞受賞。
2016 年「世界６５５種、鳥と卵と巣の大図鑑」あらえびす文化賞受賞。
NHK「プレミアム８―ワイルドライフ、群れで生き抜く―シャカイハタオリ」
（ナミビアで撮影）に出演。アルベール国際動物映像祭　特別審査員賞受賞
2021 年「あるヘラジカの物語」（あすなろ書房）親子で読みたい絵本大賞受賞。
2025 年　やなせたかし文化賞受賞。
絵画活動と並行して鳥の巣の研究をしている。

☆鳥の巣の主な展示

1998 年　東京新宿のギャラリー高野にて、日本初の「鳥の巣展覧会＆原画展」を開催。
その模様は NHK 教育 TV「新・日曜美術館」でも放映された。
以後ギャラリー高野にて 1999、2001、2002 年開催。
2002 年　ニューヨークのギャラリーAnnex にて初の海外展「NESTS」を開催。
2006 年　東京武蔵野市立吉祥寺美術館。「実物とイラストで見る鳥の巣の造形美」開催。
2008 年　上野動物園、『世界の鳥の巣と原画展』。2009 年　渋谷ギャラリー櫟「鳥の巣と絵本原画展」
全国各地で展覧会を開催。
2017 年　三島ビュフェ美術館、以降全国で展覧会をしている。
NHK「新日曜美術館」、「生活 HOT モーニング」、「視点。論点」「モリゾートキッコロ」
BS2「熱中時間」など TV 出演多数。「ダーウィンが来た！」では鳥の巣関連のアドバイスなど。

鳥の巣を扱った著書

「鳥の巣の本」「世界の鳥の巣の本」「ぼくの鳥の巣コレクション」「ニワシドリのひみつ」「鳥の巣つくろう」(岩崎書店)「鳥の巣みつけた」「鳥の巣研究ノート①②」（あすなろ書房）「ぼくの鳥の巣絵日記」「鳥の巣いろいろ」「ふしぎな鳥の巣」「鳥の巣ものがたり」「ツバメのたび」「日本の鳥の巣図鑑、全２５９」（偕成社）「バサラ山スケッチ通信」「ぼくの鳥の巣探検」「世界の鳥の巣をもとめて」（小峰書店）「おじいさんとヤマガラ」(小学館)　アメリカにて「世界の鳥の巣の本」英語版出版。「世界６５５種　鳥と卵と巣の大図鑑」（ブックマン社）「ぼくのたからもの」「鳥は恐竜だった」(アリス館)「生きものたちのつくる美しい家」（エクスナレッジ）「わたり鳥」（童心社）「巣箱のなかで」（あかね書房）「鳥は恐竜だった」（アリス館）戦争をやめた人たち」（あすなろ書房）「ニワシドリのひみつをもとめて」（理論社）「身近な鳥のすごい巣」（イースト新書）